

古事記1300年紀

古事記のふるさと田原本

おのやすまろ 太安万侶の御神像と墓

▼太安万侶の墓と言伝えられる塚



▲太安万侶の御神像(多神社資料館)



今年太安万侶によって「古事記」が記されて1300年になります。2月28日には、多神社の若宮であり太安万侶をお祭りしている小杜神社で「古事記献上祭」が行われました。

「古事記」は天武天皇の命によって、それ以前に存在していた歴史書の「帝記」「旧辞」(いずれも現存していません)を基に、稗田阿礼が暗記し語った神話や伝承などを太安万侶が記録し、そして712年に元明天皇の命によってそれらを編纂して3巻にとりまとめたものです。

安万侶は今の田原本町多のあたりに居住していた豪族多氏の長で、壬申の乱(672年)において活躍した多品治の子といわれています。長じて、国の役人となり平城京に赴任しました。そして古事記の編纂や、後には「日本書紀」の編纂にも携わりました。平城京の左京四条四坊(今のJR奈良駅西側)に住み、民部卿・従四位下という官位に叙せられたことが、奈良市東部



イメージ：奈良県ホームページ「記紀・万葉でたどる奈良」より

の茶畑で発見された火葬墓から出土した墓誌に記されています。

どのような人物だったのかは、この墓誌に記された業績などから偲ぶしかありませんが、文武ともに優れた官僚だったと思われる。多神社資料館には安万侶の御神像が安置されています。また多神社の東には、太安万侶の墓と古来言い伝えられているこじんまりした塚が、多池のすぐ南の近鉄橿原線に沿った田の中にあります。この機会にお参りされてはいかがでしょうか。

町観光協会事務局

今月の表紙

笑顔で出発！がんばって完走するぞ！



1月22日、町民マラソン大会が行われ、みんなで走ろうの部では、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の人々が参加しました。

ピストルの号砲とともに、一斉にスタート。お父さん、お母さんと一緒に参加した子どもは、一生懸命にあとを着いて走ります。沿道からは「がんばって！」と励ましの声掛けられ、全員が3kmを完走しました。

編集後記

■モーツァルトの名曲には癒しの効果があるという話を耳にしました。規則的な音と不規則な音が調和して快適に感じる1/f ゆらぎと呼ばれる状態の音が含まれているからだそうです。難しい話はさておき、さっそく寝る前に試してみると1曲終わらないうちに寝てしまいました。どうやら私にはぴったりのリラックス法だったようです。華

■マラソンの取材で、4、5歳くらいの子がお父さんやお母さんと一緒にゴールをめざして走っている姿を見かけました。走る楽しさや辛さなどを分かち合うことで、完走する達成感を味わうことができたのではないのでしょうか。また、家族で話題を共有できるので、帰宅後も話に花が咲いたことでしょう。私も来年は息子と走ってみよう。永